

ベーカーマッケンジー 競争法セミナー

「ダイナミックに変化する市場／イノベーションと競争法の役割」

2018年5月21日（月）10:00～17:00

10:00～10:20	開会ご挨拶 井上隆 一般社団法人日本経済団体連合会 常務理事 阿江順也 ベーカー&マッケンジー法律事務所 パートナー／弁護士 Fiona Carlin Baker & McKenzie CVBA/SCRL (ブリュッセル) パートナー
10:20～10:55	基調講演 山田弘 公正取引委員会 事務総局 政策立案総括審議官、官房審議官（国際担当）
11:00～12:00	企業結合規制 — イノベーションを軸にした競争阻害性、取引価格ベースの閾値等 <ul style="list-style-type: none"> ダウ・ケミカル／デュポンにおける欧州委員会の判断：新たな地平を開くか？ 研究開発型企業への影響は？ 取引価格ベースの閾値：必要かつ適切か？
12:00～13:00	昼食
13:00～14:00	支配的地位の濫用：ビッグデータ・規模・プライバシー～真に懸念すべき事項なのか？ <ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ：競争法の新境地？ データ収集とプライバシー：競争当局が介入すべきか？ オンライン市場の画定
14:00～15:00	カルテルと情報交換：密室から人口知能へ～何が変わるのか？ <ul style="list-style-type: none"> 価格決定アルゴリズム、人口知能と電子的共謀：「機械がカルテルする」時代がくるのか？ 情報交換：外延はどこまでか？ デジタル通信とチャットルームの世界でコンプライアンスを徹底するには？～実務上のポイント
15:00～15:30	休憩／コーヒーブレイク
15:30～16:30	垂直的制限と電子商取引：競争当局が規制すべきか？ <ul style="list-style-type: none"> オムニチャンネル時代の垂直的制限行為：選択的流通、プラットフォームの制限、価格比較サイト、価格監視ソフト・・・独禁法上の落とし穴は？ 電子商取引分野の調査及び Coty Germany 判決後の EU 当局のスタンス：模範的事例か、教訓か？
16:30～17:00	質疑応答、閉会ご挨拶 阿江順也 ベーカー&マッケンジー法律事務所 パートナー／弁護士 Kurt Haegeman Baker & McKenzie CVBA/SCRL (ブリュッセル) パートナー

セミナー登壇者（予定）

Fiona Carlin

Baker & McKenzie CVBA/SCRL (ブリュッセル) パートナー
 グローバル競争法グループ代表

阿江 順也

ベーカー&マッケンジー法律事務所 パートナー／弁護士

Kurt Haegeman

Baker & McKenzie CVBA/SCRL (ブリュッセル) パートナー

井上 朗

ベーカー&マッケンジー法律事務所 パートナー／弁護士

Stephen Crosswell

Baker & McKenzie Hong Kong (香港) パートナー

Mark Hamer

Baker & McKenzie LLP (ワシントン DC) パートナー

Craig Lee

Baker & McKenzie LLP (ワシントン DC) パートナー

他

山田 弘

公正取引委員会 事務総局 政策立案総括審議官
 官房審議官（国際担当）

黄晓锦 / Jenny Huang

Tencent Holdings Limited
 Director, Tencent Competition Policy Office

持田 義徳

ソニー株式会社 法務・コンプライアンス部
 法務グループ ゼネラルマネジャー

坪井 勝

KYB 株式会社 執行役員、CSR 本部長兼同本部
 法務部長

他